

講義科目名称：日本語リテラシー I（作文、論文）

授業コード：A0131 A0132 A0133 A0135

授業科目の区分等：基礎教育科目 表現力の養成

A0136 A0461 B0131 B0132
B0133 B0134 他5件

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	1	必修
担当教員			
各担当教員			
C（商学部）	L（基礎科目）	SM（演習）	101（基礎・入門科目）

授業のねらい（概要）	知的活動、職業生活、社会生活で必要とされる基本的な日本語運用能力を身につけるための演習形式の科目。固定した少人数のメンバーが授業担当者の指導のもとで様々な文章を書く実習を通して、目的に沿った、適切で分かりやすい文章を書くための知識や技能を身につける。 あわせて、問題解決力、コミュニケーション力、チームワーク力などの汎用的技能と関連づけた日本語運用能力の演習を行うために、メンバー間の共同作業や地域でのフィールドワークなども取り入れる。また、授業担当者やメンバーとの触れ合いを通して、教養の涵養と自主・自立の人間性を育む。 科目のテーマと関連した、学外講師（実務家、専門家、クリエイターなど）による特別講演を行なう。		
授業計画	第1回	【遠隔】 オリエンテーション ①学生便覧および授業計画書について ②授業の概要説明・成績評価に関する説明 ③履修登録ガイダンス ④自己紹介文を書く（教科書スキルアップ編1章など）	
	第2回	予習（時間）：シラバスを熟読しておく（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） 【遠隔】 大学生の自発的な学びとノート ①大学でのノートのとり方（教科書スキルアップ編2章など） ②食生活やタイムマネジメントの自己管理について（ノートをとりながら短い講義を聞いて、復習・質問する） ③自己紹介文を発表する	
	第3回	予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文書作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） 【遠隔】 多様なコミュニケーション① 同世代の仲間以外とのやりとり ①敬語の基礎（教科書スキルアップ編3章など） ②教員あてに依頼メールを書く（教科書スキルアップ編 5章など）	
	第4回	予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文書作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） 【遠隔】 目標設定と自己管理 ①大学で学ぶことの意義 ②高崎商科大学「建学の精神」について ③「自己診断カルテ」「未来創造プラン」などを書く	
	第5回	予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文書作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） 【課題】 共同作業（1）（体育祭など） ①受講生全員での協力体制の理解 ②体育祭競技種目別メンバー選考及び事前練習 ③関連事項のメモを作って伝達する（教科書スキルアップ編4章など） 注意：授業によっては別活動となる場合がある	
	第6回	予習（時間）：体育祭などについて本学ホームページを見たり、先輩などに聞く 教科書の該当箇所を読み、文章を作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） 多様なコミュニケーション② わかりやすく伝える ①まとまった事項を説明する（教科書スキルアップ編7章など） ②体育祭の振り返りを説明する 注意：授業によっては②は別内容となる場合がある	
		予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文章を作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30）	

	第7回	書くために調べる・・・PC、図書館の利用 ①PC, 図書館を利用して調べる （教科書スキルアップ編8章など） ②著作権と研究倫理
	第8回	予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文章を作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） 多様なコミュニケーション③ 社会人のツールとしての手紙 学外の大人に手紙を書く （教科書スキルアップ編6章など）
	第9回	予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文章を作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） 書くために資料を読み取る 表・図・グラフを読み取る （教科書スキルアップ編11章など）
	第10回	予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文章を作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） 【課題】 共同作業（2）（彩霞祭など） ①前年度までの彩霞祭、参加の意義などについて ②参加可能なテーマの決定と役割分担の決定 ③②をメモにまとめて共有する 注意：授業によっては別活動となる場合がある
	第11回	予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文章を作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） レジュメ・スライドを作る レジュメやスライド作成のコツ （教科書スキルアップ編 12章など）
	第12回	予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文章を作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） レポートを書く① レポートを書く手順を学ぶ （教科書スキルアップ編13章など）
	第13回	予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文章を作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） レポートを書く② レポートの形式やルールを学ぶ （教科書スキルアップ編14章など）
	第14回	予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文章を作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） エッセイやブログを書く エッセイのコツ、ブログなどの注意事項 （教科書スキルアップ編19章など）
	第15回	予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文章を作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30） 【課題】 まとめ ①前期に学修したことの確認と復習 ②前期学生生活に対する客観的自己評価
		予習（時間）：前期の授業内容を確認（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30）
	授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DPの 1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力 2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 の修得を目指す。 【身に付くスキル】 表現力・協働力

到達目標	①自発的に様々な文書を書くことができる。 ②語彙や文法などについての基本的な知識と技能を持つ。 ③基本的な情報収集ができる。 ④大学での授業で求められるレジュメ、スライド、レポート作成のための基本的な知識と技能を持つ。 ⑤大学の学びの特徴を知り、目標と計画を立てることができる。 ⑥食生活やタイムマネジメントが自己管理できる。 ⑦積極的に発言でき、他の人の考えや意見を聞くことができる。 ⑧グループで共同作業ができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	各回の課題の個別の添削や、全体的な講評など、授業担当者の判断で行う。
履修上の注意	大学における学修・研究、また社会生活、職業生活の基礎となる科目であり、少人数の演習形式科目という性質上、主体的な参加が必要である。以下の事項について十分に注意すること。（１）遅刻、欠席は極力避ける。（２）病気など、やむをえない欠席の場合には事前に担当者に連絡する。（３）他メンバーの発言に耳を傾け、積極的に発言する。（４）社会や自己について日頃より考え、大学での自らの学修のテーマとの関わりを意識する。
成績評価の方法・基準	到達目標①、② 50%（授業の参加度・提出物などで評価） 到達目標③、④20%（授業の参加度・提出物などで評価） 到達目標⑤、⑥ 15%（授業の参加度・提出物などで評価） 到達目標⑦、⑧15%（授業の参加度で評価）
教科書	大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編 著者名：橋本, 安倍, 福島 出版社：三省堂 価格：1900円
参考書・教材	
備考	演習科目 2020年度は、5、10、15回を課題研究として学修する。 第5回 例えば「テレワーク環境でのコミュニケーションとチームワーク」など教員が指示したテーマについて、指示された情報源や方法でレポートを作成し、教員の校正指示に従い完成させる。おおむね6，7，8回の対面授業で指示や提出などを行う。実作業全体で150分の学修を想定している 第10回 例えば「グループチャット環境でのコミュニケーションの実践」など、教員が指示した環境や方法で、実際にmellyなどを使いネットワーク上での共同作業を行う。おおむね9，11回の対面授業で指示や提出などを行う。実作業全体で150分の学修を想定している。 第15回 例えば、「本科目のポートフォリオおよび前期履修科目全体の簡易ポートフォリオの作成」など、教員が指示した方法で、何らかの制作物の作成とゼミ参加者によるネットワーク上での相互評価などを行う。おおむね12, 13, 14回の対面授業で指示や提出・振り返りを行う。実作業全体で150分の学修を想定している。
教員との連絡方法	初回授業時に授業担当者より指示する。